

医療的ケアの実践

担当教員 吉岡 久美

配当年次 4年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義・演習

単位数 1

準備事項

備考

【授業のねらい】

施設・地域で生活する医療的ケアを必要とする方々の身体的状況を把握する力を身につけ、援助できるスキルを修得することができることを目的とする。
介護福祉士に求められる医療的ケアに関する基本を踏まえた実践を行う。
到達目標：喀痰吸引、経管栄養の実施手順が説明でき、物品準備、教材モデルを対象にした実践、観察、片づけなどの一連の手技が説明でき、実施できる。

【授業の展開計画】

科目担当者実務経験

【吉岡】大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、介護福祉士養成校教員 他

週	授業の内容
1	講義：吸引における身体状況の確認と準備から片づけ、観察、記録方法
2	演習：痰の吸引（口腔内吸引5回以上、鼻腔内吸引5回以上、気管カニューレ内部5回以上）の実践
3	講義：経管栄養における身体状況の確認と準備から片づけ、観察、記録方法
4	演習：経管栄養（胃瘻または腸瘻5回以上、経鼻5回以上）の実践
5	講義：救急時の判断と対応
6	演習：救急蘇生法（1回以上）の実施、観察と記録、報告の実践
7	講義：痰の吸引、経管栄養、救急時の対応の振り返り
8	演習：総合評価（すべての技術の実践）
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	

【履修上の注意事項】

実践を中心とした演習はまじめに取り組み、講義中のディスカッションでは積極的態で臨むこと
事前学習及び事後学習を行い、記録にとどめ、学習を深めること（これが不十分であれば演習を実施しないこともありうる）

事前事後学習として90分

【評価方法】

原則として、演習時の実践60%、実技試験40%

【テキスト】

最新介護福祉全書13 医療的ケア メヂカルフレンド社

【参考文献】